レジメン番号　g081 レジメン名 DCF

1クール　*4週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
ドセタキセル注	70mg/㎡	day1
シスプラチン注	70mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	750mg/㎡	day1~5

	血管への影響	副作用/主な特徴
シスプラチン注	炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制、末梢神経障害 腎機能障害予防として水分負荷
ドセタキセル注	壊死性抗がん剤	骨髄抑制、浮腫、脱毛 アルコール過敏注意、CYP3A4で代謝
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g082 レジメン名 IRIS+RT

1クール　*5週*　　催吐リスク(レジメン)　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
イリノテカン注	60mg/㎡	day1,8,22,29
S-1	80mg/㎡	放射線治療日に服用　2投,2休,1投
radiation		

	血管への影響	副作用/主な特徴
radiation	—	
S-1	—	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、下痢 食後服用の遵守、経口摂取不良時の休薬
イリノテカン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、下痢 UGT1A1検査、止瀉薬(ロペラミド)を適宜使用

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g083 レジメン名　SOX+T-mab（初回）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
トラスツズマブ注	8mg/kg	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
S-1	80mg/㎡	day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
S-1	—	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、下痢 食後服用の遵守、経口摂取不良時の休薬
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
トラスツズマブ注	非炎症性抗がん剤	心障害、Infusion reaction 心障害は可逆的、定期的な心エコーで左室駆出率をモニタリング

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g084 レジメン名 SOX+T-mab（2回目以降）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
トラスツズマブ注	6mg/kg	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
S-1	80mg/㎡	day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
S-1	—	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、下痢 食後服用の遵守、経口摂取不良時の休薬
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
トラスツズマブ注	非炎症性抗がん剤	心障害、Infusion reaction 心障害は可逆的、定期的な心エコーで左室駆出率をモニタリング

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g085 レジメン名 nal-IRI+5-FU+LV（中心静脈ポートあり）

1クール　*2週*　　催吐リスク（レジメン）　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オニバイド注	70mg/㎡	day1　UGT1A1の結果次第で50mg/㎡
レボホリナート注	200mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	2400mg/㎡	day1,46時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
オニバイド注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、下痢、間質性肺炎 UGT1A1検査、止瀉薬（ロペラミド）を適宜使用
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害
レボホリナート注	—	フルオロウラシルによる副作用が強くでる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g086 レジメン名 nal-IRI+5-FU+LV（末梢）

1クール　*2週*　　催吐リスク（レジメン）　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オニバイド注	70mg/㎡	day1　UGT1A1の結果次第で50mg/㎡
レボホリナート注	200mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	2400mg/㎡	day1,46時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
オニバイド注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、下痢、間質性肺炎 UGT1A1検査、止瀉薬（ロペラミド）を適宜使用
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害
レボホリナート注	—	フルオロウラシルによる副作用が強くでる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g087 レジメン名 Nivolumab(消化器・4週)

1クール　*2週*　　催吐リスク(レジメン)　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オプジーボ注	480mg/body	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
オプジーボ注	非炎症性抗がん剤	irAe(下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など)

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g088 レジメン名 CDGP+5-FU

1クール　*4週*　　催吐リスク(レジメン)　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
アクプラ注	90mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	800mg/㎡	day1~5

	血管への影響	副作用/主な特徴
アクプラ注	炎症性抗がん剤	過敏症(アレルギー症状)、悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注:RNA合成阻害(骨髄抑制に関与)、持続静注:DNA合成阻害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g089 レジメン名 TDXd（胃）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
エンハーツ注	6.4mg/kg	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
エンハーツ注	炎症性抗がん剤	間質性肺炎、骨髄抑制、心障害 定期的な心エコーで左室駆出率をモニタリング

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g090 レジメン名 Atezo+BEV

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*軽度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
テセントリク注	1200mg/body	day1
アバスチン注	15mg/kg	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
アバスチン注	非炎症性抗がん剤	高血圧、出血、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、消化管穿孔 家庭血圧測定、大手術前後4週間は休薬
テセントリク注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g091 レジメン名 SOX+Nivolumab

1クール　*3週*　　催吐リスク(レジメン)　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オプジーボ注	360mg/body	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
S-1	80mg/㎡	day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
S-1	—	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、下痢 食後服用の遵守、経口摂取不良時の休薬
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
オプジーボ注	非炎症性抗がん剤	irAe(下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など)

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g092 レジメン名 Nivolumab+Ipilmumab（MSI-High結腸・直腸）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オプジーボ注	240mg/body	day1
ヤーボイ注	1mg/kg	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
オプジーボ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
ヤーボイ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g093 レジメン名 Nivolumab+Ipilmumab（食道）

1クール　*2週*　　催吐リスク（レジメン）　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オプジーボ注	240mg/body	day1
ヤーボイ注	1mg/kg	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
オプジーボ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
ヤーボイ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g094 レジメン名 Cmab（2週：消化器）

1クール　*1週*　　催吐リスク（レジメン）　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
アービタックス注	500mg/㎡	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
アービタックス注	非炎症性抗がん剤	皮膚障害、爪囲炎、低マグネシウム血症、Infusion reaction 前投薬：抗ヒスタミン・副腎皮質ホルモン

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g095 レジメン名 Nivolumab+FP（食道）

1クール　*4週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オプジーボ注	360mg/body	day1,15
シスプラチン注	80mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	800mg/㎡	day1~5

	血管への影響	副作用/主な特徴
オプジーボ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
シスプラチン注	炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制、末梢神経障害 腎機能障害予防として水分負荷
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g096 レジメン名 Pembrolizumab+FP

1クール　*3週*　　催吐リスク(レジメン)　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
シスプラチン注	80mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	800mg/㎡	day1~5

	血管への影響	副作用/主な特徴
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe(下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など)
シスプラチン注	炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制、末梢神経障害 腎機能障害予防として水分負荷
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注:RNA合成阻害(骨髄抑制に関与)、持続静注:DNA合成阻害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g097 レジメン名 Durvalumab（胆・肝）

1クール　*4週*　　催吐リスク（レジメン）　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
イミフィンジ注	1500mg/body	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
イミフィンジ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g098 レジメン名 Durvalumab+GC

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
イミフィンジ注	1500mg/body	day1
シスプラチン注	25mg/㎡	day1,8
ゲムシタビン注	1000mg/㎡	day1,8

	血管への影響	副作用/主な特徴
イミフィンジ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
ゲムシタビン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制（血小板）、血管痛、間質性肺炎 血管痛出現時は患部を温める
シスプラチン注	炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制、末梢神経障害 腎機能障害予防として水分負荷

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g099 レジメン名 Pembrolizumab+5-FU（持続）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*軽度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
フルオロウラシル注	800mg/㎡	day1~5

	血管への影響	副作用/主な特徴
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g100 レジメン名 Pembrolizumab+5-FU（中心静脈ポート）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*軽度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
フルオロウラシル注	4000mg/㎡	day1,120時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g101 レジメン名 FOLFOX+Nivolumab

1クール　*2週*　　催吐リスク(レジメン)　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
オプジーボ注	240mg/body	day1
オキサリプラチン注	85mg/㎡	day1
レボホリナート注	200mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	400mg/㎡	day1,ﾎﾞｰﾗｽ
フルオロウラシル注	2400mg/㎡	day1,46時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
オプジーボ注	非炎症性抗がん剤	irAe(下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など)
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注:RNA合成阻害(骨髄抑制に関与)、持続静注:DNA合成阻害
レボホリナート注	—	フルオロウラシルによる副作用が強くでる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g102 レジメン名 Tremelimumab+Durvalumab

1クール　*4週*　　催吐リスク（レジメン）　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
イジュド注	300mg/body	day1
イミフィンジ注	1500mg/body	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
イジュド注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
イミフィンジ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g103 レジメン名 Pembrolizumab+SOX

1クール　*3週*　　催吐リスク(レジメン)　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
S-1	80mg/㎡	day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
S-1	—	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、下痢 食後服用の遵守、経口摂取不良時の休薬
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe(下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など)

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g104 レジメン名 Pembrolizumab+CAPOX

1クール　*3週*　　催吐リスク(レジメン)　*中等度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
カペシタビン錠	2000mg/㎡	2投1休(C法) day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
カペシタビン錠	—	骨髄抑制、手足症候群、悪心・嘔吐、下痢 A法、B法、C法で用法用量が異なる。HFS予防で保湿剤推奨。
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe(下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など)

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g105 レジメン名 Pembrolizumab+SP

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
シスプラチン注	60mg/㎡	day1
S-1	80mg/㎡	day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
S-1	—	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、下痢 食後服用の遵守、経口摂取不良時の休薬
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
シスプラチン注	炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制、末梢神経障害 腎機能障害予防として水分負荷

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g106 レジメン名 Zolbetuximab+CAPOX（初回）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
ビロイ注	800mg/㎡	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
カペシタビン錠	2000mg/㎡	2投1休(C法) day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
カペシタビン錠	—	骨髄抑制、手足症候群、悪心・嘔吐、下痢 A法、B法、C法で用法用量が異なる。HFS予防で保湿剤推奨。
ビロイ注	非炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、Infusion reaction、骨髄抑制、肝機能障害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g107 レジメン名 Zolbetuximab+CAPOX（2回目以降）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
ビロイ注	600mg/㎡	day1
オキサリプラチン注	130mg/㎡	day1
カペシタビン錠	2000mg/㎡	2投1休(C法) day1~14

	血管への影響	副作用/主な特徴
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
カペシタビン錠	—	骨髄抑制、手足症候群、悪心・嘔吐、下痢 A法、B法、C法で用法用量が異なる。HFS予防で保湿剤推奨。
ビロイ注	非炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、Infusion reaction、骨髄抑制、肝機能障害

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g108 レジメン名 Zolbetuximab+mFOLFOX6（初回）

1クール　*2週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
ビロイ注	800mg/㎡	day1
オキサリプラチン注	85mg/㎡	day1
レボホリナート注	200mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	400mg/㎡	day1,ﾎﾞｰﾗｽ
フルオロウラシル注	2400mg/㎡	day1,46時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
ビロイ注	非炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、Infusion reaction、骨髄抑制、肝機能障害
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害
レボホリナート注	—	フルオロウラシルによる副作用が強くでる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g109 レジメン名 Zolbetuximab+mFOLFOX6（2回目以降）

1クール　*2週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
ビロイ注	400mg/㎡	day1
オキサリプラチン注	85mg/㎡	day1
レボホリナート注	200mg/㎡	day1
フルオロウラシル注	400mg/㎡	day1,ﾎﾞｰﾗｽ
フルオロウラシル注	2400mg/㎡	day1,46時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
オキサリプラチン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/㎡でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
ビロイ注	非炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、Infusion reaction、骨髄抑制、肝機能障害
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注：RNA合成阻害（骨髄抑制に関与）、持続静注：DNA合成阻害
レボホリナート注	—	フルオロウラシルによる副作用が強くでる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g110 レジメン名 Pembrolizumab+GC

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*高度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
シスプラチン注	25mg/㎡	day1,8
ゲムシタビン注	1000mg/㎡	day1,8

	血管への影響	副作用/主な特徴
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
ゲムシタビン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制（血小板）、血管痛、間質性肺炎 血管痛出現時は患部を温める
シスプラチン注	炎症性抗がん剤	悪心・嘔吐、腎機能障害、骨髄抑制、末梢神経障害 腎機能障害予防として水分負荷

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g111 レジメン名 Pembrolizumab+GEM

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*軽度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ注	200mg/body	day1
ゲムシタビン注	1000mg/㎡	day1,8

	血管への影響	副作用/主な特徴
キイトルーダ注	非炎症性抗がん剤	irAe（下痢・大腸炎、内分泌障害、間質性肺炎、1型糖尿病など）
ゲムシタビン注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制（血小板）、血管痛、間質性肺炎 血管痛出現時は患部を温める

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center

レジメン番号　g112 レジメン名 Pembrolizumab（消化器・3週）

1クール　*3週*　　催吐リスク（レジメン）　*最小度催吐リスク*

薬品名	用量	投与日
キイトルーダ	200mg/body	day1

	血管への影響	副作用/主な特徴
キイトルーダ		

京都中部総合医療センター
Kyoto Chubu Medical Center